

藤橋バイパス I 期区間開通により、広域交流が拡大し、中心市街地の混雑が緩和！

一般国道249号藤橋バイパスは、「七尾市街地における交通混雑の緩和」、「JR七尾線で分断されている東西市街地の一体化」、「広域交流の拡大」などを目的として、平成8年度より整備を進め、平成22年11月にI期区間1.4kmが開通しました。

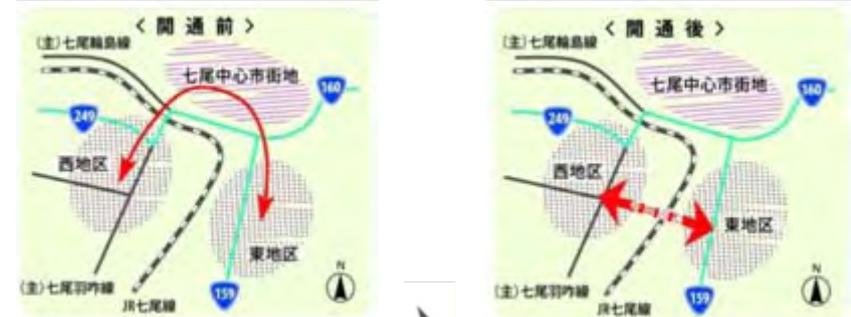


○広域交流の拡大



七尾東IC(仮称)と能登有料道路や和倉温泉を連絡
→能登地域の観光振興をはじめ、広域交流が拡大

○地域間交流の円滑化

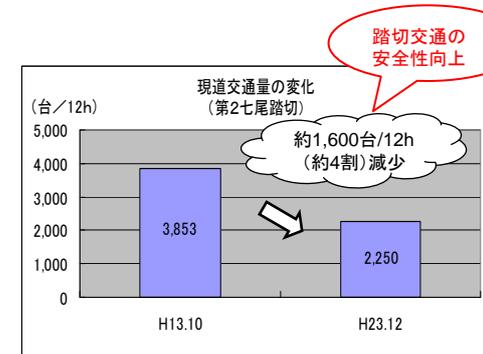
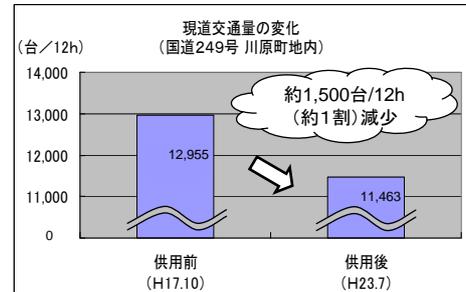


交通遮断状況(第2七尾踏切)



藤橋バイパス I 期区間利用状況

○現道交通量の減少



JRと立体交差

- JR七尾線で分断されていた東西地域を連結し、地域間交流を円滑化
- 現道や踏切交通の安全性向上